

地域包括支援センター 高齢者保健福祉サービス相談窓口

保健福祉・介護の専門スタッフが、高齢者の介護予防、保険、福祉などに関する相談・支援を行います。

受付時間

月曜日～金曜日：午前9時～午後7時 土曜日：午前9時～午後5時
※日曜・祝日・年末年始は休みです。緊急のご相談は、24時間電話対応します。

名称	住所	電話・FAX	担当区域
南中野	弥生町三丁目33番8号 （「やよいの園」内）	☎ 03-3580-8601 FAX 03-5358-8602	南台一丁目～五丁目全域、弥生町一丁目38番、39番・二丁目43～53番・三丁目～六丁目全域
本町	本町五丁目10番4号 （倶楽部千代田會館内）	☎ 03-5385-3733 FAX 03-5385-3776	弥生町一丁目1番～37番、40番～60番・二丁目1番～42番、本町一丁目1番～12番、16番～30番・二丁目1番～45番、52番、53番・三丁目1番～26番・四丁目1番～4番、6番～48番・五丁目全域・六丁目全域、中央三丁目30番～36番・四丁目1番～10番・五丁目1番～20番、27番
東中野	東中野一丁目5番1号	☎ 03-3366-3318 FAX 03-3366-3398	本町一丁目13番～15番、31番、32番・二丁目46番～51番、54番・三丁目27番～33番・四丁目5番、中央一丁目全域・二丁目全域・三丁目1番、2番、22番～26番、東中野一丁目全域・二丁目全域・四丁目全域・五丁目全域、中野一丁目1番～31番、33番～49番、51番～54番、59番～63番
中野	中央三丁目19番1号 （中部すこやか福祉センター内）	☎ 03-3367-7802 FAX 03-3367-7800	中央三丁目3番～21番、27番～29番、37番～51番・四丁目11番～61番・五丁目21番～26番、28番～49番、東中野三丁目全域、中野一丁目32番、50番、55番～58番・二丁目全域・三丁目全域・四丁目1番、2番、8番～10番・13番～23番・五丁目1番～67番・六丁目全域、上高田一丁目～五丁目全域、新井一丁目1番～3番
中野北	松が丘一丁目32番10号 （松が丘シニアプラザ内）	☎ 03-5380-6005 FAX 03-5380-5762	中野四丁目3番～7番、11番、12番・五丁目68番、新井一丁目4番～43番・二丁目～五丁目全域、松が丘一丁目全域・二丁目全域、江原町一丁目～三丁目全域、江古田一丁目1番～39番、野方一丁目1番～35番、43番～49番、54番～58番・二丁目全域、大和町一丁目12番～15番・二丁目1番、2番
江古田	江古田四丁目31番10号 （北部すこやか福祉センター内）	☎ 03-3387-5550 FAX 03-3387-5955	沼袋一丁目～四丁目全域、江古田一丁目40番～43番・二丁目～四丁目全域、丸山一丁目全域・二丁目1番～24番、野方三丁目全域・四丁目全域・五丁目1番～5番、7番、10番～34番・六丁目1番～35番、41番～44番、48番～51番、若宮一丁目10番～16番、24番～27番
鷺宮	若宮三丁目58番10号 （鷺宮高齢者福祉センター内）	☎ 03-3310-2553 FAX 03-3387-5955	野方一丁目36番～42番、50番～53番・五丁目6番、8番、9番、35番、大和町一丁目1番～11番、16番～68番・二丁目3番～49番・三丁目全域・四丁目全域、若宮一丁目1番～9番、17番～23番、28番～59番・二丁目全域・三丁目全域、白鷺一丁目全域
上鷺宮	上鷺宮三丁目17番4号 （かみさぎホーム内）	☎ 03-3577-8123 FAX 03-3577-8124	丸山二丁目25番～28番、野方六丁目36番～40番、45番～47番、52番、53番、白鷺二丁目全域・三丁目全域、鷺宮一丁目～六丁目全域、上鷺宮一丁目～五丁目全域

中野区議会議員

白井ひでふみ

中野区中野4-8-1 中野区役所3F公明党控室

区政に関するご意見・ご要望をお聞かせください。

☎ 03-3228-8875 ☎ 03-3389-8680

<http://www.shirai.ne.jp>



確かな政策！抜群の実行力！

白井ひでふみNEWS

発行者：中野区議会公明党議員団 中野区中野 4-8-1 中野区役所 3F 公明控室



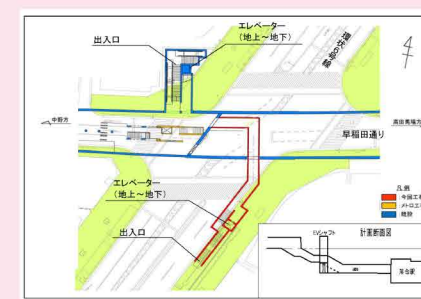
ご挨拶

新しい「白井ひでふみ NEWS」ができましたので、お届けさせていただきます。
今回の内容は、複数年に渡り取り組んでまいりました上落合2丁目交差点地下横断通路の完成と、平成26年第1回定例会総括質疑より質疑要旨抜粋、実績のご報告として、区内街路灯のLED化の完了、中野区地域防災地図の完成、お役立ち情報として地域包括支援センターのご案内となっています。
ご高覧を賜れば幸いです。何卒よろしくお願い致します。

白井ひでふみ

完成 上落合2丁目交差点の地下横断通路

上落合2丁目交差点の地下横断通路がついに完成しました。
拡幅された山手通りと早稲田通りが交差する上落合2丁目交差点は、地域内でも交通量が多く、安全対策を求めるお声が多数寄せられていました。
交差点の真下が東京メトロ落合駅となりますが、周辺調査と思案を巡らし、駅と地上階の間に未使用の地下空間があることを発見、この空間を活用して出入口を繋げれば地下横断通路ができるとの提案、推進を平成21年より、東京都、東京メトロに粘り強く交渉を行ってまいりました。
ついに東京都と東京メトロの費用負担で建設が決まり、この度26年4月に地下横断通路が完成しました。



この間に、この際、落合駅自体を完全バリアフリー化にしようとの計画になり、駅ホーム階まで続くエレベーターの設置と、障がいのある方でも利便性の良いトイレの設置も決まり、明年を目指して建設が進められています。
この出入口には、エレベーターも設置され、子ども達や高齢者の皆さんにも安心してご利用いただけるものとなりました。
長年のお約束、またひとつ実現です。

「平成26年第1回定例会予算総括質疑より（要旨）」

平成26年度予算(案)について

質問

- ・歳入動向から区民生活を読み解き施策を展開する必要性、特にスピード感ある待機児対策を求める。
- ・25年度補正予算と26年度予算への技能労働者の設計労務単価の引き上げ対応を求める。
- ・特財の活用として、社会資本整備総合交付金、都市再生整備計画の基幹・提案事業の活用とともに、一定圏域ごとの計画的公園整備計画の策定を求める。

答弁

- ・待機児対策についてはスピード感のある対応に努めたい。
- ・25年度補正予算成立、26年度適切に対応していきたい。
- ・様々な活用の検討とともに中長期的な公園整備計画を検討して参りたい。

防災対策について

質問

- ・防災行政無線のデジタル化元年にあたり、デジタルサイネージの導入と新たな整備実施計画の策定を求める。
- ・備蓄物資の拡充について、避難所における停電時にも活用できる暖房器具と携帯充電器の配備。

答弁

- ・活用できるもの、修正を要するもの十分配慮して検討し整備して参りたい。
- ・26年度予算に計上された。

オープンデータについて

質問

- ・役所が有する様々なデータを機械判読に適した形式で、かつ二次利用できる形式で公開し民間活用を促す仕組みづくりやガイドランを策定すべき。

答弁

- ・国の動向を踏まえ、取り組みの基本的な考え方や手順を整理し、ガイドラインの策定する等、オープンデータを推進して参りたい。

ふるさと納税について

質問

- ・特徴ある寄付目的の設定や、特典として区内産業や事業者の振興策ともなるような、ふるさと納税制度の積極的活用策を検討すべき。併せて寄付金施策についても検討すべき。

答弁

- ・区税収に大きくかわかる仕組みであるため寄付金控除関連の動向把握に努め、他自治体におけるふるさと納税の取り組みについての情報収集と庁内各セクションとの連携を図り検討したい。

マイナンバーについて

質問

- ・マイナンバーシステム構築予算が初めて盛り込まれたが、完成の暁には情報連携による真のワンストップサービス、マイポータルによるプッシュ型サービスなど、これまでとは全く異なる行政サービスの提供が可能となる。要は区民が実感できる行政サービスの利便性向上であり、そのために庁舎や庁内の体制整備、職員スキルの向上のための取り組みの検討を始めるべき。

答弁

- ・法の理念に則り、区民サービスの向上や事務改善に資するよう取り組み内容を検討し、必要な体制整備や職員スキルの向上等を図って参りたい。



平成26年第1回定例会 予算総括質疑

「中野区防災地図（中野の防災）と、 中野区地域防災地図（各地域）」を各戸配布

防災地図は、ご自宅に届きましたでしょうか？

中野区全体の防災地図と、中野区内15地域別の防災地図を各戸配布しました。

特に、白井ひでふみが推進してきました詳細な防災情報を分かりやすく伝えるとの観点からの地域別の防災地図は、地域防災住民組織（防災会）の区域や避難所、広域避難場所、消火栓、防火水槽、防災資材倉庫の位置、公園・防災広場などが掲載されています。

このような詳細な情報を地図に落とし込み防災地図としたのは初めてとなります。お住まいの地域の地域防災地図を確認していただき日頃からの備えの糧としていただければと思います。防災地図の予備がありませんと区役所より聞きます。区役所のHPよりダウンロードできますので、下記にアクセスいただければと存じます。

中野区 HP アドレス 地域防災地図

<http://www.city.tokyo-nakano.lg.jp/dept/508000/d017602.html>



＜地震に関する地域危険度について＞

東京都では、東京都震災対策条例に基づき、概ね5年ごとに地震に関する地域危険度測定調査を実施しています。平成25年9月に第7回目の調査結果が公表されました。

地域危険度は区部及び多摩の市街化区域の、5133町丁目を対象に危険性を1から5までのランクで相対的に評価したものです。（中野区は85町丁目）
ランク1は危険性が低く、ランク5は危険性が高くなります。

1. 建物倒壊危険度
地震の揺れによって建物が壊れたり傾いたりする危険性の度合いを測定したもの
2. 火災危険度
地震の揺れで発生した火災の延焼により、広い地域で被害を受ける危険性の度合いを測定したもの
3. 総合危険度
建物倒壊と火災の危険度を1つの指標にまとめ、5段階にランク分けしたもの
4. 災害時活動困難度を考慮した建物倒壊危険度、火災危険度、総合危険度
地域の道路網の稠密さや幅員が広い道路の多さなど、道路基盤の整備状況に基づき測定した災害時活動困難度を考慮して、建物倒壊危険度、火災危険度、総合危険度を測定し直したもの



● 区内の全街路灯がLEDに！ ●

平成25年度末で、中野区内の街路灯約16,000基の全てがLEDに代わりました。都内で初めてとなります。白井ひでふみが、5年前から推進し交換を勧めてきましたが、この度区内の全ての街路灯のLED化が完成しました。

- ① 蛍光灯や水銀灯に比べ明るく防犯効果が期待されること
 - ② 年間約1億円の経費（電気代と電球交換費用）が削減されること（電気代の上昇に伴い当初の試算よりさらに削減効果が上がりました。）
 - ③ 年間約1,500トンのCO2が削減されること
 - ④ 交換作業を区内業者に発注し、区内産業の育成に努めたこと
 - ⑤ 先駆事業として国や都の補助金を最大限活用し区の独自歳出を抑制したこと
- など多くの効果を上げています。
本年度からは、商店街の街路灯のLED化に対して、都の補助金と区の補助金を加えた新たな制度を実施しています。